

第3回紀北里親支援連絡会

会議・研修会

2022.10.21 (金) 13:00~16:30

場所：海南市民交流センター 大ホール

第1部 13:00~13:30 「紀北里親支援連絡会 会議」

第2部 13:30~16:30 「里子と里親、養子と養親」

講師：岩崎美枝子先生

それぞれが幸せに暮らしていけるための告知とは？

～喪失体験を繰り返してきた子どもたちに対する告知のあり方～

講師：岩崎 美枝子先生のご紹介



1940年大阪市生まれ。大阪市立大学家政学部社会福祉学科を卒業後、1963年9月より、大阪市民生局中央児童相談所に配属され、児童福祉司として1967年3月末まで勤務。結婚を機に大阪市を退職。同年6月より恩師の紹介で家庭養護促進協会大阪事務所を手伝うこととなり、里親開拓の活動に従事する。2001年定年退職後も引き続き理事として職員の指導や活動の推進に努力している。

「子どもの養子縁組ガイドブック」(明石書店 2013)他、多数書籍の出版や研究論文を職員とともに発表している。

☆会場アクセス☆

海南市民交流センター 海南市下津町下津 500-1 TEL:073-492-4490



社会的養護の子どもたちは、実親と離れ、実家と離れ、慣れ親しんだ保育園や学校を離れ・・・といった「喪失体験」を繰り返してあなたのところにきます。

今、どうしてここにいるのか、なぜここに来なければならなかったのか・・・子どもたちは知る権利を持っています。子どもたちが、離れてしまったものに対してどのような想いを持って日々を過ごしているのか、あなたは知っていますか？

養育里親と養子縁組里親では、伝えていく内容に違いがあります。子どもたちが信頼して耳を傾けることができる告知とは？

家庭養護促進協会で50年以上にわたり特別養子縁組、養子縁組家庭の支援に携わってきた岩崎美枝子先生を講師に迎え、事例紹介とともに、子どもと親、それぞれが幸せになるための告知の在り方を一緒に考えていきましょう。

家庭養護促進協会

1961年に結成。1962年より神戸市・兵庫県と神戸新聞社生活部、1964年より大阪府・大阪市・堺市と毎日新聞大阪本社社会部と共に、親に育てられない子どもたちの里親探し「あなたの愛の手を」運動を57年にわたり展開している。すでに大阪事務所で1411人の子どもが里親家庭に引き取られ、1183人（令和4年3月現在）が養子縁組されている。2013年に社団法人から公益社団法人として認められた。

☆お問い合わせ・お申し込み☆

里親支援センター「なでしこ」

e-mail : nadeshiko@shirt.ocn.ne.jp

〒649-6215 岩出市中迫 667-1

TEL : [0736-69-1004](tel:0736-69-1004) FAX : [0736-69-1002](tel:0736-69-1002)

携帯Tel : [080-9975-6918](tel:080-9975-6918)



里親支援センター
なでしこ

